

清須市第2次総合計画策定に係る 市政推進委員アンケート調査結果

平成28年2月
清 須 市

1 アンケート調査の目的

これまで清須市の行政運営の基本的な指針としてきた清須市第1次総合計画が平成28年度をもって終期を迎えることから、現在、平成29年度を始期とする新たな行政運営の基本的な指針となる清須市第2次総合計画の策定を進めているところです。

「清須市第2次総合計画策定に係る市政推進委員アンケート調査（以下「アンケート調査」という。）」は、今後のまちづくりを考える上で、アンケート調査により地域の実情に精通した市政推進委員の皆様の意見を聴取し、問題意識を共有しながら計画策定を進めることを目的としています。

アンケート調査は、市政推進委員38名の方に調査票を郵送して、平成28年1月22日～2月3日までを調査期間として、ご協力をお願いしました。

2 アンケート調査の項目

(1) 性別

(2) 居住地域

西枇杷島地区・清洲地区・新川地区・春日地区のいずれにお住まいかを選択。

(3) 清須市の施策について

次の6つの観点から、これから先10年を見通して、市が特に力を入れるべきだと思う施策を3つ選択。あわせてそれぞれの観点ごとに、回答した理由や、施策に関する意見を記入。

(4) 市政全般について

これから先10年を見通して、清須市のまちづくり全般についての意見や提案を記入。

○施策についての設問の観点

観点 1	市民の安全を守る施策	1	河川氾濫を防ぐための雨水貯留対策
		2	浸水被害を防ぐための排水対策
		3	地震等に備えた防災・減災対策
		4	防犯対策
		5	交通安全対策
		6	消防活動
		7	上水の供給
観点 2	市民の健康や福祉を支える施策	1	健康づくり
		2	救急医療体制
		3	地域福祉活動
		4	子育て支援
		5	母子（父子）家庭福祉
		6	妊娠・出産期の女性への支援
		7	障害者（児）福祉
		8	高齢者福祉（介護保険等含む）
		9	各種医療費助成
		10	生活保護
		11	国民健康保険

観点 3	市街地などの整備や環境保全に関する施策	1	公園・緑地整備
		2	河川沿い遊歩道の整備
		3	駅周辺などの市街地整備
		4	道路・橋りょう整備
		5	公共交通
		6	下水道の普及
		7	ごみの減量化・資源化・適正処理
		8	斎苑施設整備
		9	環境美化
		10	資源循環型社会の構築
観点 4	教育、文化、芸術、スポーツなどに関する施策	1	学校教育
		2	幼児教育
		3	生涯学習
		4	文化・芸術活動
		5	文化財保護
		6	スポーツ
		7	地域間・国際交流
		8	青少年健全育成
		9	男女共同参画
観点 5	産業、観光などに関する施策	1	商業
		2	工業
		3	農業
		4	観光
		5	消費生活相談
観点 6	市政への市民参加、行政の運営などに関する施策	1	市民・行政間の情報提供・情報交流
		2	ボランティア活動
		3	市政への市民参加
		4	自治コミュニティ活動
		5	行政改革

3 アンケート調査の回収状況

市政推進委員38名の方に調査票を郵送して、平成28年1月22日～2月3日までを調査期間としてアンケート調査を実施した結果、32名の方にご回答をいただきました(回収率84.2%)。

4 アンケート調査の結果

(1) 性別

男 性	女 性	合 計
27人	5人	32人
(84.4%)	(15.6%)	(100.0%)

(2) 居住地域

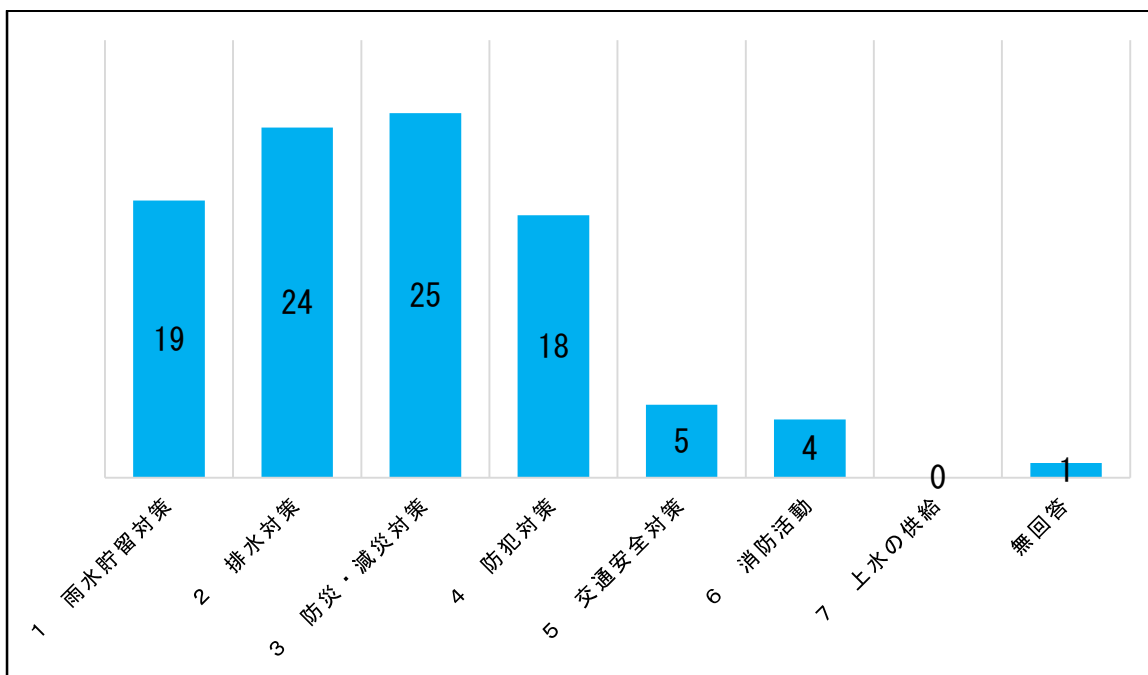
西枇杷島地区	清洲地区	新川地区	春日地区	合 計
8人	11人	8人	5人	32人
(25.0%)	(34.4%)	(25.0%)	(15.6%)	(100.0%)

(3) 清須市の施策について

6つの観点から、これから先10年を見通して、市が特に力を入れるべきだと思う施策を3つ選択し、あわせてそれぞれの観点ごとに、回答した理由や、施策に関する意見を記入していただきました。

〔観点1〕市民の安全を守る施策

○集計結果（選択項目の数をカウント）



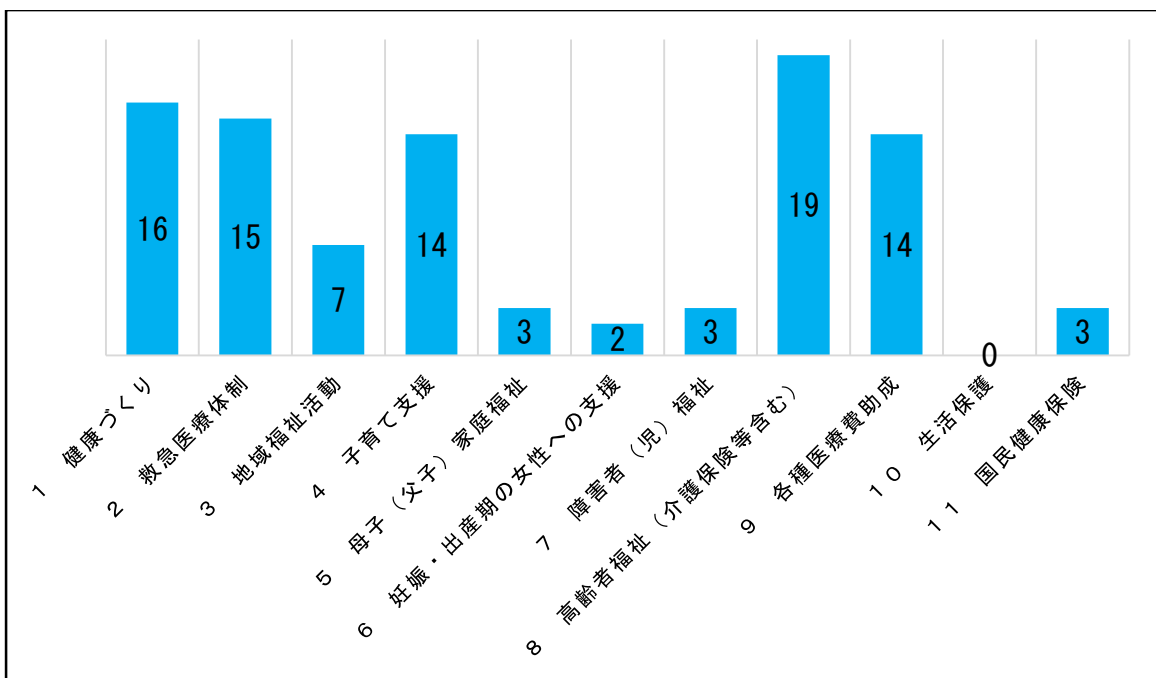
○回答した理由や施策に関する意見

早く下水対策をしてください。
また水害が来るのが怖い。
防犯カメラの設置を増やして欲しい。
・排水対策は、東海豪雨を経験して、今再び豪雨があった時本当に大丈夫なのか？不安です。 ・防災・減災対策は、子ども（小・中学生）を巻き込んで、何度もシミュレーションをやるのが大事と思う。 ・防犯対策は、空き巣に入られた家があることを話したがらないので、どう対策した方が良いのか見えて来ない。知恵を出し合う必要あり。
公園の地下に貯水槽を造ること。
水田が少なくなったこと、集中豪雨が増えたこと、それに対する対応を！遊水池の増設、排水系統の複数化など。
・地震による液状化に対する減災対策の推進 ・五条川の護岸強化工事の早期完成 ・名鉄の線路より南側地区の避難所を兼ねた市の公共施設の設置
どれも大事で、なかなか優劣が付きません。出来るものから先にやっていくべきかと思われます。
清須市は3つの河川（庄内川、五条川、新川）に囲まれている。排水も大切ですが、雨水貯留対策が必要と考える。また地震に備えた防災・減災対策が必要。防犯対策も必要ですが、地域の消防団に入る若い人が少ないそうです。増えれば防犯にも役立つと思います。

河川に囲まれている点で2番、3番、また液状化対策に力を入れて欲しい。
大雨が降ると道路が冠水するので、雨水対策が身近に感じる。また地震への対策・避難への対応策が町内としてできていない。
・地震とか大雨など、自然への対応も非常に大切な施策と思います。長中期計画を立てて取り組む必要があります。 ・最も身近な防犯対策として、地域のコミュニケーションが必要と思う。地域対策に力を注いで欲しい。すべてにつながると思います。
大通公園や桃栄公園は不審者が目撃されたり、ゴミの不法投棄等があり、街灯や防犯カメラの設置を希望します。設置にあたり企業等から援助していただき、広告等があっても良いと思います。
大都市名古屋への通過地点にあたる当地域は、外部からの一時的通過道路を多く抱えております。朝夕のラッシュ時の生活道路までもが混雑の上、危険地帯となりかねません。従って車両が通行できる時間規制を厳しくすべき（場所、時間による車両通行禁止）。広域の制限対応が必要などところも見受けられます。
側溝がうまく流れないため、異臭や蚊が発生したりして、不衛生な場所がある。下水道の完備を望む。
特に地震と豪雨に特化した、防災・減災施策を希望します。
避難訓練の実施、避難経路図の作成。
防災対策がほとんどなされていないので心配している。

〔観点2〕市民の健康や福祉を支える施策

○集計結果（選択項目の数をカウント）



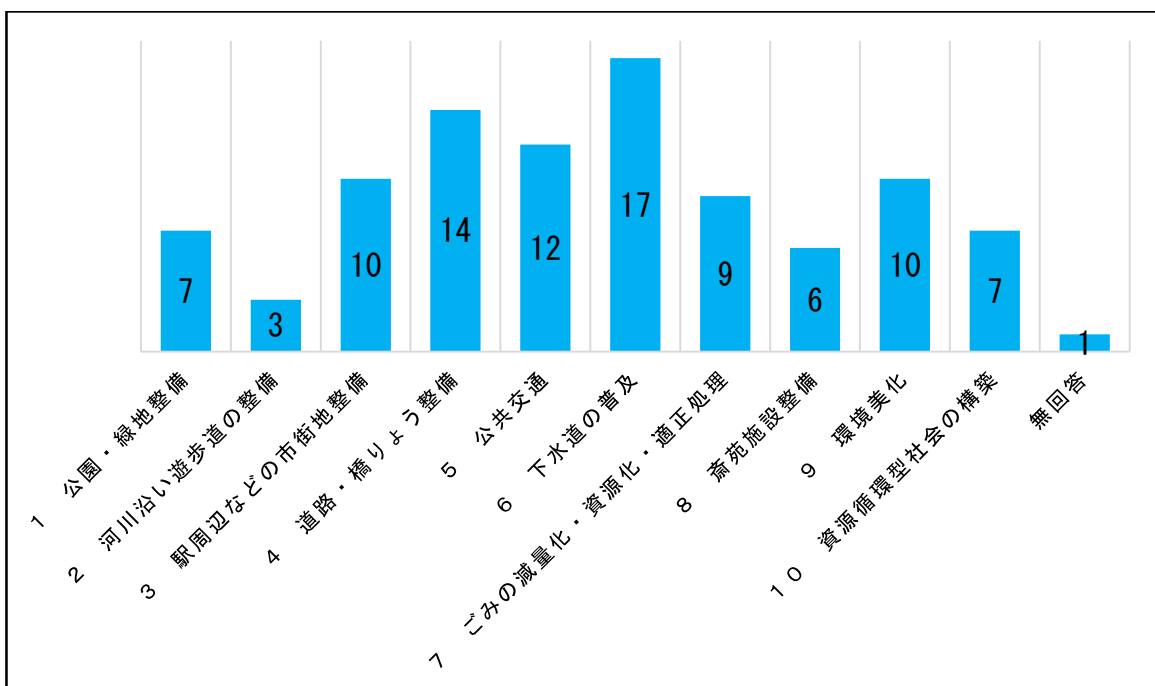
○回答した理由や施策に関する意見

小中学生のボランティア活動の機会を増やすと良い。西枇杷中では「福祉体験」の授業が中1の時に1回だけあります。小学生でもお手伝いできると思います。小4～中3が毎年やれば良い。施設の方も喜ぶし、子どもたちも予備学習し、いたわりの心を覚えると思う。
市民の少子高齢化対策に注力して欲しい。

<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりは…清須市全体でラジオ体操を積極的にやることを提案します。 ・救急医療体制は今より充実して欲しいです。 ・各種医療費助成…力を入れてください。
地域福祉活動を地元に関わりすぎと思う。市がもっと関与すべき。
政府は高齢者福祉に偏りがあり、市が発展するには若い世代が多くいなければならない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックの福祉活動に市・社協がもっとブロック内に入って、地域の現状に合った具体的支援が欲しい。(支援内容が余りにも一般的すぎる。) ・市内には個人病院、クリニックが乱立している。そろそろ「市民病院」を計画して、救急医療の充実が必要。 ・市は市民生活の施策をブロックに押し付け過ぎ。各ブロックの課題を提案するので、それを基に市側で施策案を作り、ブロックに意見を求める方法が良い。
予防的観点から、まずは市民一人ひとりが健康でいられる施策。次に病気になってからのケア政策。
医療費助成も必要ですが、病気にならない施策が必要。
9番の助成に関して、名古屋市と同等レベルにして欲しい。
高齢者の増加に対応する施設の拡充への税の徴収方法や、健康への対策についてさらに充実が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉が必要だと思います。行政と市民が一体となって、そこに住む地域の方々が快適な生活が出来るような仕組みづくりをしていく。 ・近所に住んでいる方を知らないような社会は何かにつけて弱い！
1人暮らしの高齢者をどのように地域で見守るのが大切だと思います。
社会保障制度体制の崩壊に対する国・自治体の苦悩の中、生活低レベル者への底上げ応援が不足しており、底辺者の切り捨て政策が結果的に大きくなってきています。昔の日本を忘れた行政に寂しい思いをしています。
キーワードは「住みたい・住んでみたい街」造りが重要だと思います。

〔観点3〕市街地などの整備や環境保全に関する施策

○集計結果（選択項目の数をカウント）

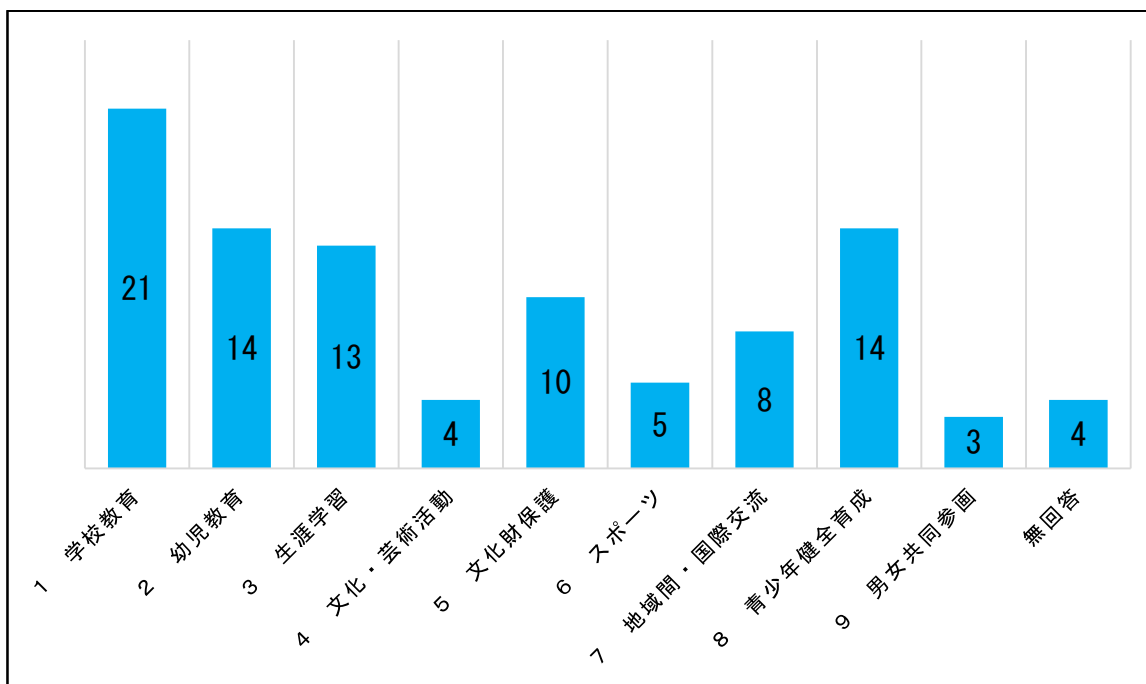


○回答した理由や施策に関する意見

歩道が狭い所がまだまだある。広くなった所は安全で歩くのに余裕があり、ゆっくり歩けて良い。
名古屋市のベッドタウンとして安心、安全なまちづくりを強化して欲しい。
・公園・緑地整備は、避難場所として雨水貯留場所やトイレの確保や、色々想定して変化できるベンチや遊具を設置して欲しい。 ・下水道の普及は、特にU字溝等の側溝の整備を早くやってください。 ・斎苑施設は必要です。どれだけの人が待っているか！
五条川に架設してある橋は狭い、古い。改善する必要あり。
まずは生活インフラの整備かと思います。現在もかなり良い線いっていると思います。
歩行者帯、自転車帯の整備。
春日地区に建設されるはずの火葬場はどうなったのでしょうか？市に火葬場がないと市民各々へ多額の負担がかかり、他の市に比べて個人の負担が大きくなります。早期実現を願います。
公園・緑地が少ないし、整備が出来ていない。美化運動への補助の増大。
・市制10周年が過ぎましたが、旧4町の交流が進んでいない。あしがるバスの利用がもっと進み、市内の交通問題を改善させる。 ・市の行事があっても高齢者の足がない為、参加出来ないことが多い。
前にも述べましたが、不衛生な側溝があります。下水道の完備。
いつになったら斎苑は出来るのでしょうか。
「都市」と言われる所には絶対必需なものです。「快適」がキーワードです。
高齢者が自動車を使わず、公共交通で済む様に。

〔観点4〕教育、文化、芸術、スポーツなどに関する施策

○集計結果（選択項目の数をカウント）

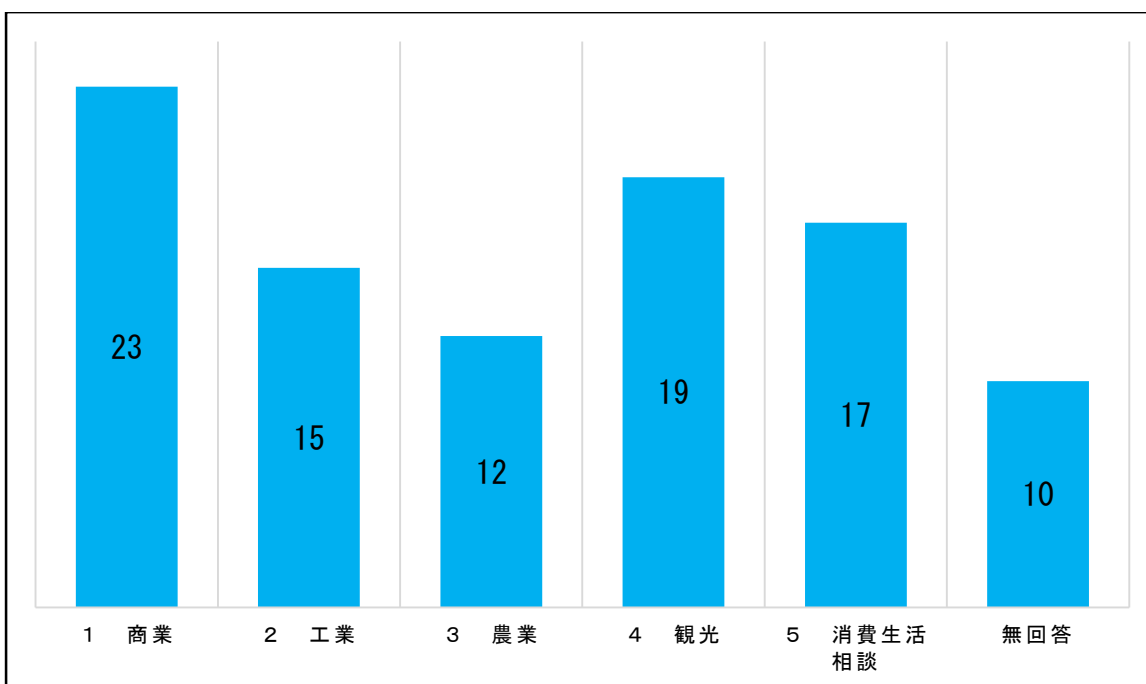


○回答した理由や施策に関する意見

名古屋市のような高齢者の市民大学があると良いと思います。超高齢社会を有意義に過ごせると良いです。色々学べ、部活や修学旅行もあるらしいので、楽しそうです。
特に語学など国際交流に力を入れて欲しい。
・幼児教育は子育て中の両親に対して教育をしっかりやって欲しい。 ・青少年健全育成はタバコ、薬物、スマホ等の害や人としてのあり方等、学習の機会を沢山作って欲しい。 ・男女共同参画の根っこは人権と思っています。誤解のない、誰でもわかる学習会を望みます。
学校の屋根にソーラーシステムの導入。
市の歴史・文化財は全国的に見ても優れているものが沢山ある。もっと歴史・文化財の素晴らしさを全国に向けて発信すべき。
清須を好きになる教育。教育を通じて、清須を好き、清須市民である事が誇りと思う子どもたちが増える事が、将来の清須市が全てに良くなる事につながると思う。
学校教育が重要だと思います。男女共同参画が現在充分ではない。もっと早く進めて欲しい。
スポーツを通して地域の活性化を図るべく、施設の拡充が必要。
・犯罪やいじめなどを起こさない人を育てるには、小さい時からの教育が大切です。 ・豊かな生活が送れるような特色ある教育を望む。
新川体育祭のプログラムは広報と一緒に配布して欲しい。
将来に財政のつけをまわしてゆくのであれば、徹底的に将来世代の環境を整えるべきであり、老人対策は聞こえが良いですが得るものではありません。
年少の時から国際交流などを通じて英語教育を行い、海外でも働ける人の育成。
市が開催する秋の体育祭を各地区で行う必要はない。一本化することは出来ないのかと思う。
スポーツが街の人の心をひとつにする一番速い道具と思ってます。スポーツ振興とPRにお金を使いましょう。

〔観点5〕産業、観光などに関する施策

○集計結果（選択項目の数をカウント）

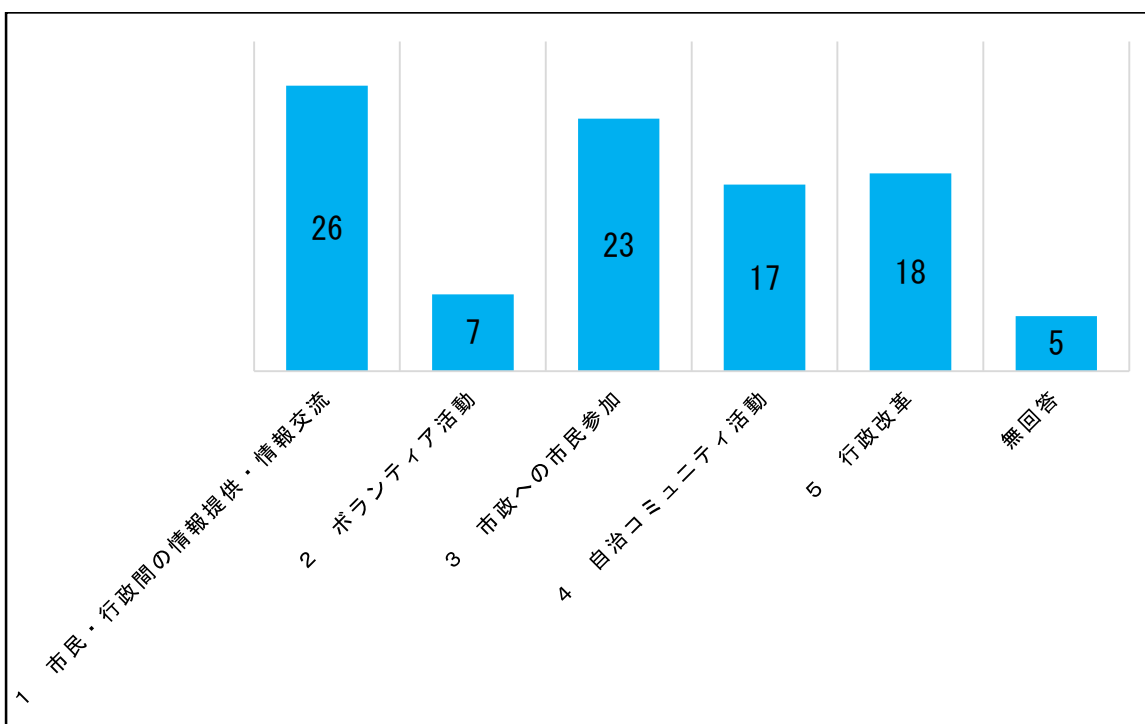


○回答した理由や施策に関する意見

豊かな清須市を希望します。
・農業・観光でまちおこしが出来たら良いと思っています。 ・消費者生活相談は、これからますます高齢化社会となる気がするので、相談の機会が増えることが予想されます。需要が伸びるのではないのでしょうか。
空き農地の活用。
特に農業は大事かと思えます。
観光や寺社仏閣への周辺整備。
・清須市は名古屋市に近く、ベッドタウン化しているし、これからもこの状況が進むと思う。 ・その為スーパーなど店（商業施設）の誘致など、快適に生活出来るように取り組む。
美濃路の整備。清洲駅から清洲城までの道路整備。清洲城周辺の整備（城下町らしくする）。烏山明さんに協力してもらう。
新川地区は商業施設がなく、毎日の買い物が大変です。
各地区で行う祭りを整理する必要がある。伝統があり、特色があるものだけを残せば良い。
清須市においては、企業誘致と農業のより一層の継続施策と展開に知恵を出すべきだと思います。

〔観点6〕 市政への市民参加、行政の運営などに関する施策

○集計結果（選択項目の数をカウント）



○回答した理由や施策に関する意見

高齢化や共働きの世帯が多くなっている中、世話役の人に対して行政からの新たな業務の委託が多すぎる。
行政と市民のつながりが必要。
各家庭の孤立化が進む中、自治コミュニティ活動をもっと活発化したい。
1番、2番、3番のいずれも、今後も大切な施策だと思う。

町政から市政に変わり、自治会、特にブロックでの仕事の負担が重く、市政推進委員となると仕事に支障をきたす。
行政はもっと市民の立場を考えた仕事の進め方が必要。何かを求めるとルールで出来ない、「ダメ」しかない。何事も枠にはめるやり方は昔ながらの役人的進め方で、見直しが充分できる内容が沢山ある。担当者1人で仕事をするのではなく、組織で仕事を進めるよう改善すべき。
地域に対してもっと踏み込んだ行政が必要かと思えます。建前ではなく本音で。
市政への市民参加が必要。自治会において役員さんになる人が少なく、毎年困っている。
自治会活動や地域福祉活動への参加や理解を得る為の、啓蒙活動が必要と思われる。 ・どのブロックの方に聞いても町内会活動、自治会活動に参加する方が減少している。(非常に危機感を感じる。) ・自由参加の町内会活動、自治会活動ではなく、全員が加入する仕組みや市が進めているブロック制に移行し、市民にきめ細かなサービスをする。(ブロック補助金をUPし、コミュニケーションを深める活動。)
市職員はもっと働かなくてはいけない。
公民館の運営・管理は行政で行って欲しい。
議会の動きのなさや積極性のなさで、何も変わりようがないでしょう。国が道州制を含めた抜本的改革をしないと日本自体が沈没する。
市役所は市政推進委員をただの下請けと持っているようなところがある。市政推進委員の意見を聞く耳を持っていない。国勢調査の時には係の勉強不足が目立ち、質問のたびに説明が異なり、調査員が混乱した。
情報交流等で開かれた行政があり、職員のモラル向上とシンキング力の向上があったから、ボランティア・自治コミュニティ・市民参加があるべきです。順番を間違えないようにしましょう。
もっと地元の企業さんも入ってもらって、行政・市民の活動を行ってください。

(4) 清須市のまちづくり全般についての意見や提案等

これから先10年を見通して、清須市のまちづくり全般についての意見や提案等を記入していただきました。

学校、校舎の修復。子どもたちが怪我してからでは遅い。「舟が出たぞ」では遅い。お子様、お孫様が怪我をされては大変です。
清須市の現在の立ち位置をよく考え、今後どうあるべきかを、プロの意見を聞きながら進めてください。
清須市にとって、この市ならではのまちおこしが必要。市民から提案してもらって、是非アクティビティとして何かすべきと思っている。
市民は一杯意見・改善案を持っている。それを市に言って来いと言われるとなかなか勇気がある。この市民の意見を吸い上げる場所を考えて欲しい。沢山の人が集まる仰々しい会議ではダメ。例えば、町内会単位ぐらいの会議体を持って意見集約する。
難しい質問です。清須が好きだという市民が増える事。出来ないベストより、出来るベターを。行政はもっと地域に溶け込む事。ガンバロー！
清須市のまちづくりについて、市民と行政が密になり色々な問題に取り組む、より良いまちづくりをお願いしたい。
人口減少により、字の運営が苦しくなってきました。対策を願います。
商業特区のような、町の活性化への運動を願う。 ・新庁舎の建設、名鉄の高架化、河川工事、市街化工事など、やらなければならない事業はたくさんあります。 ・お金が必要な事業ばかりです。税収をUPさせるような施策が必要と考えます。
リニア鉄道も来る名古屋駅から、電車で10分の清須市。「住みたい・住んでみたい街」になれば、自慢のできるふるさtoになると思っています。職員の皆さん、頑張りましょう。

清須市第2次総合計画策定に係る
市政推進委員アンケート調査結果
平成28年2月

清須市役所 企画部 企画政策課
〒452-8569
愛知県清須市須ヶ口1238番地
TEL 052-400-2911 (代表)